

八代海河川・浜辺の大そうじ大会と 干潟保全に向けた青少年ワークショップ

活動地域  熊本県八代市

LOVE BLUE助成

2年目

実践

大そうじ大会青少年参加者数 **500人**

青少年対象WSリピーター率 **90%**

今年度計画の達成度 **80%**

目標達成度 **80%**



大そうじ大会：青少年500人参加

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

いかにこの場所に足を運ばせるか、実施にあたっての地元の方への理解を図ることやその場で体験して学んでもらい、干潟の価値を学ぶ機会を可能な限り多く設定した。

■ 工夫した点

浜辺の不法投棄パネルを教育関係出前授業やイベント時に見せ、考えさせたことで、青少年の「大人へ向けた啓発」は感想やアンケート結果に意識の向上をみる事ができた。

課題

浜辺の掃除やごみ調査を実施しているが、浜辺はごみは減らず、また、球磨川河口干潟は絶滅危惧種の様々ないきものが生息していることも、市民の多くはその現実を知らない。

目標

行政、企業、漁協共同で市民干潟保全イベントを行い、特に意識が高まった青少年をメインに、『青少年干潟環境保全シンポジウム』を行い、干潟の生物多様性保全を目指す。

活動内容と成果

- 台風のため1週間延期になったにも関わらず、ボランティア高校生や地元企業、行政ら計500人の協力のもと『第15回八代海河川・浜辺の大そうじ大会』を実施した
- 高校生写真部と海のごみ調査船『海煌』に乗船し、海流のごみ調査と、チラシ用の記録撮影をした
- 大そうじ大会参加高校生をメインにして『青少年干潟保全ワークショップ』を開催した
- 海に流れるごみの原因として、球磨川流域の全地域に啓発チラシを5,000部作成し、球磨川流域の全小学校や公的機関等に配布した



海のごみ調査船「海煌」乗船



第2回青少年干潟保全ワークショップ

全助成期間の活動を振り返って

干潟周辺のごみの多さと容易に減少しない現実を青少年らは実感し、体験を通してごみを減らすことの大切さを学んだと思われる。期間を通して複数回参加してくれた青少年も多く、行動することの大切さを理解してくれたようだ。また、干潟に生息するカニ類、貝類や鳥類を目の当たりにして、干潟が生物の生息する大切な場であることをしっかりと理解してくれた。干潟を体験する機会が少なかった青少年にとって大切な機会となった。

〒866-0856
熊本県八代市通町6-43
電話：0965-32-5081
E-mail：kankyo@eco-yukarin.info
HP：http://www.ganbarokai.net/



今後の展望

実際に野外で干潟や生物観察を行い、河川や浜辺でゴミを拾い、調べ、分別する体験型教育を行うことで、干潟生物多様性の重要性や「ごみと環境」への意識を高めることは、子どもはもちろん親世代の自然環境に関する理解・関心も深化し、地域住民の世代を超えた人間関係も再活性化されるであろう。今後も専門家による数回の啓発学習会・イベントを行い、市民の干潟生態系保全や八代海再生への意識を高めていくよう努めていく。